

療育研修会実施状況

京都支部

参加数 109名

テーマ ◆iPS細胞がつくる新しい医学

◆筋ジストロフィーをもっと知ろう「筋ジスと私」

講師 団体役員 藤原 聡美

医師 神野 進

実施場所 ハートピア京都



実施を終えて（感想等）

参加者の感想等、必ず記入して下さい。

参加者が多くいたのでびっくりでしたが、山中先生のiPS細胞の話に興味を
もって参加しました。先生の話では筋ジスの治療に活用できるまで
10年位かかるよと話されたので分かりました。神野先生が長年、由筋ジ
患者の世話を載せ、今回の最後には及びがとの話でしんがりました
時代の変わって会員由に認知が悪くなったのを憂いておられました。が会員
一同団結して頑張らねばと思えました

療育研修会実施状況

京都支部

参加数 109名

テーマ ◆iPS細胞がつくる新しい医学

◆筋ジストロフィーをもっと知ろう「筋ジスと私」

講師 団体役員 藤原 聡美

医師 神野 進

実施場所 ハートピア京都



実施を終えて（感想等）

参加者の感想等、必ず記入して下さい。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

療育研修会

京都 支部

◆テーマ「iPS細胞のつくる新しい医学」 講師 藤原 聡・美

2/1年5月16日に京都大学で開かれた山中伸弥教授の講演会の内容を
鑑賞した SMA 家族の会(背脊性筋萎縮症)役員の藤原様より話された
企画した経緯 DVDによる講演の説明があった。その中で山中教授は米国で
背脊損傷の患者に ES 細胞(胚性幹細胞)を使った再生医療の臨床試験
が始まる事を紹介されたが拒絶反応などの課題が残っているとのべ iPS
細胞の可能性として新しい創薬と病状の進行に影響を与える遺伝子の
解明が期待されると話された。

◆テーマ「筋ジストロフィーを知ろう」 講師 神野 進

昨年3月で退官するを期に刀根山病院筋ジストロフィー病棟主治医として勤務した
当時の現在の治療の進歩と長命化に至った理由について述べられた
当時DMD型患者(男)は18才に達する前後に死亡していたが現在は30才は
あつた 30.40才まで長生きできるおもしろい。昭和50年代後半より岩手県
により寿命がのびたが寝たままでは40才の頃まで生きていた人工呼吸器の発達で
飛躍的寿命がのび入浴はおろし外食 外泊をできるようになった。当時筋ジストロフィー
会員の活動力 政治力も弱かつた精神神経センター設立のおかげで研究が進み
今も治療に入るまで研究が進んでいる。一方飯沼法により今も筋ジストロフィーは政策医療
ではなく 療養介護として扱われる事により筋ジストロフィー会の政治力不足を嘆か
れた。